



2018年夏号  
 日本キリスト教団  
 横浜岡村教会  
 〒235-0021  
 横浜市磯子区  
 岡村 4-25-39  
 TEL.045(751)3917  
 牧師  
 杉本 泉

「主の日」を待ち望む

横浜岡村教会 牧師 杉本 泉

「わたしが備えているその日に、彼らはわたしにとつて宝となると、万軍の主は言われる。人が自分に仕える子を憐れむように、わたしは彼らを憐れむ。そのとき、あなたたちはもう一度、正しい人と神に逆らう人、神に仕える者と仕えない者との区別を見るであろう。」マラキ書3章17〜18節。

私たちキリスト者の行く末は、死の虚無が支配するところではない。キリスト(救い主)・イエスが顕してくださった全知全能の父なる神のところ、神の国(天国)に他ならない。

人は限られた時間内において、限られた能力でもって生きている。可視領域、可聴領域、解毒・治癒能力、世界新記録、向学心、探究心、可能性：そのありとあらゆるものは人としての限界を指し示している。だが、人は各々、自分自身の狭い価値観でもって、意地を張って時を過ぎしてしまうのである。

コヘレトの言葉3章には「人の時」が

記されている。コヘレトの著者であるソロモン王はその知恵と地位と権力と財産をもつてあらゆる可能性を試みた。しかし、彼が繰り返される空しさの末に出した結論は「青春の日々にこそ、お前の創造主に心を留めよ。」(コヘレトの言葉12章1節)と「すべてに耳を傾けて得た結論。『神を畏れ、その戒めを守れ。』」(同13節)であった。

繰り返しになるが、私たち人間はあらゆる限界の中に生きている。だから、疲れ、痛み、悩み、衰えていくのである。だが、限界を超越する者が存在する。それが天地万物を創られた全知全能の神である。神は公明正大であるのだから、過ぎ去っていく人間の個々のケースに無関心、不介入であると思ひ込んでいる人がいるが、それが間違いの原因である。「追いやられたものを、神は尋ね求められる。」(同3章15節)からである。だから神の前に迷宮入りとなる案件や忘れ去られる人は存在しない(詩篇139篇7〜10、15〜16、イザヤ書49章14〜16)。

失樂園の折、神は神との約束を破った


アダムとイブに対しても呼びかけ、対話をされた。しかし、彼らは善悪を知る木(禁断の木の1つ)の実を食べてしまった(もう一つの禁断の木である「いのちの木」の実を彼らは好まなかった)ので、事実を認めはしたが、責任転嫁をしてしまい、楽園を追放されてしまったのだ。失樂園とは即ち「神との関わりを失う」と言うことだったのである。土の塵から創られたアダムとイブは神との関わりを失ってから、塵に戻る(死んでしまう)者となってしまったのだ。

こうして、人は神との関わり(永遠のいのち)を求めることを厭い、善悪を知ること(誘惑者の繰り出す色々な魅力)を追い求める者となってしまったのである。それが、今日の人々にまで、ずっと、引き継がれてしまっているのである。

しかし、神はこうした哀れな人間を憐れんでくださり、「罪を取り除く神の子羊であるイエス(ヨハネによる福音書1章29節)」を私たち一人ひとりのもとへと遣わしてくださったのだ(同3章16〜18節)。

私たち人間は限られた存在である。しかし、聖書の神は、神の関わりを受け入れて、神を愛して仕えようとする者の子とし、憐れんでくださるのである。

神の前に「正しい人」とは、神の愛を喜んで受け入れる者のことだからである。



安藤脩先生・善枝姉  
25年間本当に  
ありがとうございました

坂本 浩

3月25日、主日礼拝の朝は、胸が締め付けられるような思いで始まった一日でした。この日は、安藤牧師最後の礼拝奉仕。そして午後は送別会。しかも両方とも私が司会。「誰か変わって！」という

気持ちでした。何とか礼拝中は堪えられました。送別会の最初の祈りの時には、声が詰まってしまいました。25年間導き指導していただき、共に福音の信仰のために闘ってきたという思いが、込み上げてきたのでした。着任早々に妻の洗礼と結婚式、役員の働き、会堂建築、作業所設立等々、思い出は一杯あり過ぎて、書ききれません。本当にありがとうございます。これからのお二人の歩みが増々祝され、主の証し者として大いに用いられますことを心よりお祈り申し上げます。

### 「皆その時にかなって美しい」

安藤 脩

在任中は真にありがとうございます。皆様の祈りとお助けをいただき、楽しい25年間を過ごさせていただきました。

「退任は少し早いんじゃない！」と言う人もおりますが、コヘレトの言うように「何事にも時がある」(3:1)。「神のなされることは皆その時にかなって美しい。」(3:10口語訳)とは真実です。横浜岡村教会にとっても最善の後任者が与えられましたし、私にとっても、もう少し何かをやらうとするなら、やはり、この時だったのだと思います。引越して大変だと、今までの転任以上に痛感させられております(やはり歳なのです)。未だ引越越し荷物の整理はつきませんが、退任したので、庭の木々の剪定をしたり、小さな菜園を作って耕したり、種蒔きをしながら、焦ることなくのんびりと片付けています。

善枝は「日曜日に奉仕がなくなって何となく寂しいんじゃない？」と、ときどき聞きますが、私には主の導きとの確信があるためか、何の違和感もなく、感謝して週末を過ごし、義父母の眠っている土浦めぐみ教会で主日礼拝を守っています。それと、毎日、善枝と一緒に、朝食前に讚美し、聖書を読み、感想を出し合い、祈っています。祈りカードの中には横浜岡村教会ももちろん入っています。実は、現役時代は個人でのデイボシ

ョンはあつたのですが、一緒に讚美までしてということは、なかなかできませんでした。

それから、主は「この地でも奉仕することはあるよ」と導いてくださったと思います。その一つは、筑波キングスガーデンの協力牧師として、時々奉仕することになりました。また、土浦めぐみ教会は障がい者総合支援法指定事業所・児童福祉法指定事業として「からだね」という施設があります。そこで5月より現在は週2回ですが、障がい者を特別支援学校や公立の特別学級に迎えに行く運転者、児童指導員としても奉仕する場を与えられました。無牧の教会での奉仕も、主が良しとする時、示し与えてくださると信じています。

地域では、義父母が仲間と組織した「みどり会」(義父が初代会長、義母が広報誌・みどり会編集をスタートさせた。現在会員は50数名)という会に入りました。運動を何もしていないので、この会の卓球部に入り1週間に1回、練習に行くようになりました。それと、未だ仲間を見出しませんが、近いうちに好きなテニスにも行き、健康に心がけたいと思っています。

## 新しい歩み

安藤 善枝

茨城県つくばの地に参りまして2か月が経ちました。今まで、横浜岡村教会の皆様との暖かい交わりの中にありましたが、私たちは大きな決断をなし、新しい地に出て参りました。この地におきまして、又、様々な方々との出会いがあり、神様の不思議な導きを感じております。

今年の初め1月に私は愛する母を亡くしました。祈りの人でありました母の最期の生きざまは、私にとりまして大きなチャレンジでした。今私たちは、両親が大事にしてきました家に住み始めましたが、私は母からのこの祈りを引き継ぐようにと、神様から大きく問いかけられています。

私は今、母が使っておりました新改訳聖書を使っています。パラパラとめくっていきましたら、母が書いた一枚の紙が出てきました。

「キリスト者は万人が祭司です。私たちは、そう御言葉に教えられ、信じ感謝しています。祭司の務めは何といつても祈りです。『祭壇の火はそのまま燃え続けさせ、

それを消してはならない』(レビ6章13節)

と定められています。私はただの老信徒です。だから、祭司役には相応しくない者ですが、キリスト者として、このお恵みを感じ、今日もとりなしの祈りを捧げさせていただきます。御教会の祈りの課題及び御祝福と皆様の御健康を、教えられている主の祈りと共に、心よりお祈り申し上げます。」

便箋に書かれたこの文章は、誰かに出すためのものだったのでしょうか。私はこの祈りの文章を読んで身の引きしまる思いが致しました。

母が土浦のホームに入居していらっしゃた時、私は何回か母の所に泊まりました。母と共に祈り、私は床の中に入るのですが、母の祈りはそこから又始まりました。子供たち家族の為、友の為、世界平和のためと祈りは大きく広がっていきます。

母は声を出して祈るものだから、私はすっかり目が覚めてなかなか寝られませんでした。母は祈りの火を消してはならないと、一人の祭司として、本当に命が消えるまで祈りの火を燃やし続けていました。今、この所で「その祈りの火を受け継ぐのだ」と母から言われている思っています。

今は静かな時が十分与えられていることに心から感謝しています。大きな神様の手の中で動かされ、横浜岡村教会には素晴らしい後任牧師杉本夫妻が与えられました。神様の業が進んでいます。

横浜岡村教会では、大きなチャレンジであった会堂建築を、無事喜びの内に行うことが出来ました。献金も満たされ、返済も終わり、一つのお役が終わりました。でもこれからも、横浜岡村教会のためにその祝福を祈り続けていきます。この梅園の家が祈りの家として、神様に用いられるように、祈りの火を絶やさないようにしていきたいと思っています。感謝！



つくば市梅園の自宅前で

新企画・「牧師の岡村散歩」 1

みなさん、こんにちは。新任牧師の杉本泉です。このページは、私見でもって、岡村町とその周辺を写真と紀行文で紹介させていただきますのとなりました。どうぞ、お付き合いのほど、よろしくお願ひ致します。

さて、横浜岡村教会に来て思わされたことが幾つかあります。まず、立地です。高台に囲まれた盆地のほぼ中央に位置し、以前、川であった暗渠に接していること。高台にある岡村小学校、上大岡墓地、教会員宅の庭園から教会の位置を確認できることです。この場所から鐘の音が風に乗って四方八方に伝わっているのだ、と思う時、少し身が引き締まります。私たちは鐘の音に乗せて様々な祈りや福音の思いをこの町と地域に響かせているのだと、そう思われます。

以前、敬愛する横須賀小川町教会の故・小林利夫牧師が「川が流れる場所は良い。それは命の躍動、息吹の流れを生じさせるからだ。」と話されました。隣接する川が暗渠の下に隠れているのと同じように、幾筋もの川が人の中には流れています。その見えない川の源泉が、キ

新牧師就任



「新しき地」  
杉本和生(かずみ)  
「見よ、新しいことをわたしは行う。」

今や、それは芽生えている。あなたたちはそれを悟らないのか。わたしは荒野に道を敷き、砂漠に大河を流れさせ、わたしの選んだ民に水を飲ませるからだ。」イザヤ書43章19節

主の聖名を讃美します。3月31日に引越して来ました。自前で引越し作業をしたため、2か月経ったのに、日々の生活に追われ、まだ荷物整理がつかない現状です。しかし、横浜岡村教会の方々はとても温かく、私たち家族を包んでくれるようでした。昨年、岡村アシラムに来させて頂いていたので、横浜岡村教会にアットホーム的な印象を持っていました。実際にそのことを深く感じています。また、教会の方々が、一生懸命、奉仕をされている姿に感動しました。横浜岡村教会の鐘の音の大きさには驚かされました。鐘の鳴る教会は私の憧れでした。教会の鐘の音が毎日朝七時と午

リスト・イエスの玉座から(ヨハネの黙示録二二・1)であることを心から願うものです。

岡村の地に来て「わお！素敵。」と思った場所があります。まるで、田舎ヘテレポート(瞬間移動)したかのようです。



さて、ここはどこでしょう。教会の近所です。

ある日の午後、務めが終わり牧師室で休んでいると、いきなり異人が訪ねてきました。「ハロー、ハウドウユドゥー。」と来るかと思いきや、「はじめまして。」



後五時に鳴りますが「地域の皆さん。教会がここにあります。皆さんいつでも来てください。」と響いているように私には感じます。ですから、一番地域に伝道しているのはこの鐘かもしれません。地域の人たちは「もう慣れた。鐘の音で家に帰る時間がわかる。」などと答えられました。鐘の音は思ったより好印象でした。

ライトアップされた教会は美しいです。あまりにも素敵で、何度も写真を撮らせていただきました。

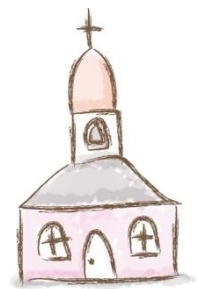
牧師館には、子どもたちの遊んでいる声がよく届きます。前任地の教会のある新宿歌舞伎町二丁目、パトカーや救急車、消防車の音が絶えず聞こえる環境でしたから、大きな変化を感じます。ここでは穏やかな時間が流れています。日中、レインボータラント舎の利用者さんたちに会うことがあります。時折、手を振ってくれ、嬉しい気持ちにさせられます。

下の娘が岡村小学校に通うようになり、同じ学年の子どもたちがJCに来てくれるようになりました。また私は、豊島薫さんに教えて頂き、小学校で読み聞

私はラング宣教師の末息子の○×△◇?・ラングという者です。横浜菊名教会から清水ヶ丘教会へ向うところだったので、横浜岡村教会にも寄らせていただいたところでした。「ん?誰?何者?」と、私は思いましたが、皆さんは誰かが御存知ですね。因みに、写真の左側が記者です。お間違えのないように。



ネットに公開されている左の写真で見ると以前の岡村が緑の多い場所だったことがわかります。これから、この地はどう変わって行くのでしょうか。この地の人々の心は、どう変わるのでしょうか。



かせのボランティアを始めました。悩み事を相談して下さいるお母様もあらわれま

教会の食事はとても美味しいです。私も昼食の準備をさせていただけることになりました。第一日曜日にはうどんを第三日曜日にはご飯ものとすることにしました。どうぞ楽しみにしてください。JCでは第一日曜日にお誕生会をし、毎回様々なケーキ作りを楽しみたいと考えています。

前任の安藤先生の足元にも及びませんが、パウンドケーキも作って、協力していきたく思っています。また、トータルカウンセリングの資格を持っていますので、多くの人のこころの友とさせて頂きたいと思っています。

新しき地で、神さまの新しい御業に参与させて頂きたく存じます。主から頂いた言葉をかみしめつつ、進んでいきたいと思ひます。主が事を成してくださいる事を信じます。

まだまだ、わからない部分が多く、至らない者ですが、じつくりとやっつけていきたいと思ひますので、どうかよろしくお願ひします。在主。

## 私と讃美歌

秋保 寛子

讃美歌 129 ものみなこぞりて

1. ものみなこぞりて 御神をたたえよ  
ハレルヤ ハレルヤ 光の源なる 日を  
造りましし 御神をたたえよ ハレルヤ  
ハレルヤ ハレルヤ

2. 月影さやかに 夜空に輝く ハレル  
ヤ ハレルヤ きらめく星をも 静かに  
導く 御神をたたえよ ハレルヤ ハレ  
ルヤ ハレルヤ

3. 小川の流れば ほめぐとささやく  
ハレルヤ ハレルヤ 実りも豊けき 大  
地を与えし 御神をたたえよ ハレルヤ  
ハレルヤ ハレルヤ

4. 世の悩みも死も いかで恐るべき  
ハレルヤ ハレルヤ 互いに助くる 心  
を賜いし 御神をたたえよ ハレルヤ  
ハレルヤ ハレルヤ

私は、『ハレルヤ』が繰り返されるこ  
の讃美歌が大好きです。2番の『きらめ  
く星をも 静かに導く』という詞では、  
『今日は野にあつて、明日は炉に投げ込  
まれる草でさえ、神はこのように装って  
くださる。まして、あなたがたにはなお

さらのことである(マタイ6:30 / ル  
カ12:28)』という聖句が同時に示され、  
神からの愛に、喜びが溢れ出てきます。  
神の創造されたこの美しい世界に命を与  
えられ、尽きることのない愛と恵みによ  
って生かされていることに感謝いたしま  
す。

豊島 雅勇

妻とともに洗礼を受けて2年ほどにな  
ります。教会に通うようになりましたが、  
仕事の都合で礼拝に通うことも、儘なら  
ぬ日々ですが、日曜日に教会で歌う讃美  
歌は、心洗われる時間です。

讃美歌は信仰を歌で表現などの意味が  
あるのでは、といささか自分流の考えで、  
教会に於いて歌うことがあります。そん  
な中、去年ともに洗礼を受けた家内と、  
「来る朝ごとに」を教会員の方々の前で  
歌う機会がありました。「来る朝毎に、  
愛の御旨を新たに悟る・・・」

信仰の浅い日々ですが、色々人生の試  
練もありました。平穏な時間と気持ちがあ  
り少ない時もあります。そんな時は、静か  
に教会で過ごす時間を思い、讃美歌の歌  
を心に思い起こすようにしています。以  
前は身近に感じなかった聖書の文章も少  
しずつ気持ちになじむ時がふえました。

「来る朝ごとに・・・」という讃美歌の  
言葉とともに、今後も教会を訪れたいと  
思う日々です。

石川 和美

主をほめたたえます。

讃美歌は日々の様々な時に癒され、讃  
美歌の歌詞にはとても励まされ、力を得  
ることをしばしば感じます。新聖歌「キ  
リストにはかえられませんが」は、私の愛  
唱歌です。また「ああ主の瞳」はとても  
考えさせられる讃美です。主は誰にでも  
愛の手をさしのべて下さいます。祈りと  
讃美は日々欠かせません。祈ることで何  
度も癒されました。

新聖歌195番「イエスのもとは」  
は特に心を動かされます。また、新聖歌  
414番には、主イエスがいつも大きな  
愛で、私を包み守ってくださいっているこ  
とを感じ、感謝です。

聖日のオルガンの奉仕をさせていただ  
いていることは、とても感謝です。拙い  
者でも、用いて下さっていることを感謝  
しています。また、聖歌隊にも加えて頂  
き、ただ歌っているだけではなく、歌詞  
を読み、考えるようになりました。そし  
て、主を讃美することは、私の大きな喜  
びです。

## 新役員になって

石川 洋一

主に在る兄弟・姉妹の皆様は役員に選んで頂いた時に、大変光栄に思うのと同じ時に、岡村教会には、私よりずっと役員にふさわしい方が何人もいらつしやるのに、本当に私で良いのだろうかとも思い祈りました。

神様は、救い主イエス・キリストの御降誕を、その当時、最も小さく弱い立場の羊飼いたちに、真っ先にお知らせになり、いと小さき者に目を向けられました。また、イエス様は、自分を裏切ることを御存じでイスカリオテのユダを、そしてイエス・キリストの十字架の死でうろたえるような者も弟子になさり、大きな神様の愛を示されました。神様は本当に小さく弱き者に、目を向けお用いになられ、そしてその行いを素晴らしいこととして下さるお方であることを、改めて感じることができました。あの十二弟子ですらそうなのですから、私は、本当に小さくて弱い者です。しかし、これも神様の御計画であると信じ、感謝して祈りつつ役員をさせて頂きたいと思っています。

## 関東こころの友伝道講習会に

出席して

関口 勢津子

会場の新宿西教会は、まさに新宿繁華街のど真ん中にありました。ビルの三階に礼拝堂、二階にはいくつもの集会室があり、「騒音の中の静寂」を思わされ、素適な教会でした。講演は東洋英和女学院院長の深井智朗先生の「伝道の喜び」という題で始められました。「伝道とは救われた喜びから始まる。神様との壊れた関係を、キリストによりとりなして頂いた喜びをしっかり味わい、わかるように話すこと、これが伝道ではないか。語る人の喜びが重要である」と私はどうであろうか。また「私以上に私を知っている神様が与えてくれた賜物を自覚し、礼拝を通して日々新たにその賜物を発見し使っていく、この事が重要である」等のお話しに、自分の中にあつた「伝道」への漠然とした思いが、霧が晴れたように感じられました。また自分に与えられた賜物への疑問が、如何に不信仰であるかと思わされました。改めて神様からこの学びの時、そして言い尽くせない恵みの時を与えられたことを心から感謝します。

## 関東こころの友伝道講習会に

参加して

豊島 薫

杉本和生牧師が私達を車で前任地新宿西教会に連れて行って下さいました。午後、献身の時の司会が和生牧師、説教が安藤脩牧師でした！約40日ぶりに先生と善枝さんにお会いできた喜びで、思わず握手！講習会は深井智朗先生でした。子供時代から、牧師、そして大学教員になってからの様々な経験を通し「伝道の喜び」についてお話しくださいました。前半印象的だったのは、礼拝を終えて家に帰る時間を守ることが大事である。共に食事をしながら、喜びを家族に語る。駅伝のようにたすきを渡す。刈り取ってくださるのは神であるから、種を蒔き続ける、とのこと。私の母が意識せずに文語訳聖書を渡し、そこから私が信仰に導かれたことを思い出しました。後半、マタイ25章のタラントンの例え、ロコリン4章土の器の箇所から、欠けや不備のある私達が、キリスト者として其々の日々を幸せに生きることこそが伝道となるとのこと。

♪キリストには代えられません 如何に美しいものも この御方で心の満たされてある今は♪



## JCの窓 (ジュニアチャーチ)

### JCCの新しい風

石川 新

2018年度に入り、杉本牧師夫妻を迎え、新体制で始まったJCですが、約2か月が過ぎ、礼拝に来る子どもの顔触れや分級の様子などが変わってきました。

昨年度までは、ミッションスクールに通う子どもたちがほとんどでした。もちろん今でもその子たちも来ていますが、牧師夫妻の娘の愛嘉さんの呼びかけで、地元の小学校からも礼拝に出席する子が増えました。私は、その子たちの様子を見ていてあることを思い出しました。それは、今から20数年前、自分が教会学校に通っていた時のことです。そのころ私

は小学生で、安藤牧師夫妻の息子である雄介さんと共に礼拝に出席していました。そこには、誠くんのクラスメイトの子が多く来ていました。その他にも地元の子が多く、男の子が多かったことが印象的です。だから今のJCを見てみると、昔の岡村教会の教会学校を見ているようで非常に懐かしくなります。安藤牧師が岡村教会の牧師退任の考えをお話ししていた中で、「これからは、新しい風を取り入れるべき」という旨の言葉があったことを思い出しました。杉本牧師夫妻という「新しい風」が仲間入りしたJCが、これから色んな子どもたちが神様の恵みを受けられる場所になっていくようなスタツフ一同頑張っていきたいと思えます。

## 6～8月 行事予定

### 6月

- 3日 JCお誕生日会  
責任役員任職式  
10日 JC花の日礼拝  
16日 初夏のランチョン  
講師：杉本和生  
17日 JC父の日招待礼拝  
20日 三教会統一祈禱課題祈禱会

### 7月

- 14～15日 第37回岡村アシュラム  
講師：杉本 泉  
22日 三教会交流講壇交換  
愛澤豊重師

### 8月

- 4～5日 JC夏期学校(教会)  
12日 創立記念礼拝  
13～16日 杉本牧師の休暇  
26日 三教会CS交流会(菊名)  
27～29日 こころの友伝道全国大会  
(伊豆・八の坊)  
(毎月第1主日 聖餐式、役員会)  
(毎月第4主日 各会の定例会)

## 集案案内

◎ 初夏のランチョン

「あなたは、愛されている」

日時 6月16日(土)

AM 10:30 ～ PM 2:30

講師 杉本和生師

◎ 岡村アシュラム

日時 7月14日(土)～15日(日)

講師 杉本 泉師

## 編集後記

5月20日(日)杉本泉牧師・和生牧師の就任式、27日(日)は教会総会と、教会にとって大事な行事が恵みに内に終り、新しい年度がスタートしました。

杉本泉牧師・和生牧師には、岡村の地、又教会について書いて頂き、お二人の思いが伝わって来ました。退任された安藤脩牧師ご夫妻からも楽しい近況報告を送って頂きました。どうぞ皆様も岡村教会のこれからの歩みのために、お祈り下さい。  
(S・H)

